

見つけていかないと日々の獄中生活は辛いだけです。限られた娯楽の機会を精一杯楽しみます。次の冬にはもうここにはいないだろうと思っていますし。

時勢的にも最近、ジャニーズや宝塚の問題、そして自民党の裏金問題など、隠されていた事実がようやく表に出てきて騒動になる、そんな機会が増えてきました。この流れに乗って僕の件も捜査の異常さを問題にしたいですし、冤罪の不条理さや再審の置かれた現状の問題を明らかにしたいですね。近々、袴田事件に無罪判決が出るはず。この勢いに乗って、次に続きたいと思います。世論が風を起せば社会は変わるし、時代も変えることができるのだと実感している今だからこそ、勝たねばなりません。勝つためには皆さんのひとりひとりが声を上げてほしいと願っています。声かけや署名、SNSやウェブ、紙媒体などへの投稿、どんな形でも構いません。皆さんの声、力が僕を救います。勇気を貸してください。どうかよろしくお願い致します。

(12月6日 / 加藤映次)

## 天神さんに祈る (第13回)

### 生身天満宮

「北野天満宮」が典型的・伝統的な天神さんだとすれば、京都府南丹市園部町にある「生身(いきみ)天満宮」は少し変わっているが、最初の天満宮だと言われています。この神社が発行している「天満宮略記」によれば、「承平4年(934)菅原家ゆかりの道真誕生の地に、朱雀天皇の勅命により創建された最古の天満宮」ということです。菅原氏代々の知行所だったこともあり、道真が左遷されて大宰府へ向かった後、(道真の存命中に)祠(ほこら)を建てて、「生祀」(生きた人、つまり道真)を祀ったことが神社の始まりだそうです。



※「生身天満宮」は、本家と元祖の争いのひとつでもあるようです。

生身天満宮(いきみてんまんぐう)

〒622-0002 京都府南丹市園部町美園町1号67番地 TEL:0771-62-0535

※菅原道真は学問の神様として有名ですが、実は雪冤の神様でもあります。詳しくは会報24号の編集後記をご覧ください。

## 改めて鈴鹿殺人事件とは

今号は新年号ですので、雪冤の神様でもある菅原道真公にレーシングカーに乗っていただいて、サーキットを駆け抜けていただくと思ってたのですが、やはり新年早々の大参事で浮かれたことは止めようと思い直しました。

2022年6月23日、再審請求申し立てから既に1年半が経過しています。この間、鈴鹿殺人事件の主戦場はLINE問題だけが話題の中心でした。この問題が大きなヤマ場であることに間違いはないのですが、検察はジタバタしながら時間稼ぎを繰り返してきました。LINEアプリがダウンロードされた根拠としてクローンiPhone説を唱えた際は、ベッキーの不倫騒動まで持ち出しました。ほぼ隔月で三者協議



三者協議を前に映次さんの無実を訴える支援者の皆さん。